

黒斑病 (Black spot)

Alternaria kikuchiana



葉に発生した黒斑病



枝に発生した黒斑病越冬病斑

発生生態

丹後のナシの主力品種のひとつ「二十世紀」が、特に発病しやすい病気です。

枝に付いた病斑で越冬し、高温多湿条件で多く伝染していきますので、6～7月の梅雨期が発病の盛期となります。果実に感染すると腐敗・裂果し落果してしまいます。

品種による発病の差が大きく、二十世紀の改良品種である「ゴールド二十世紀」は発病が少ない品種です。

防除対策

冬期のせん定時に、越冬病斑は見つけ次第、塗布剤により封じ込めるか、枝ごと切除して、菌の密度を低くすることが大切です。

生育期の定期的な殺菌剤の散布が有効で、特に5月の小袋かけ直前と梅雨時期に重点的に防除します。